

Title	奥付
Sub Title	
Author	
Publisher	三田社会学会
Publication year	1999
Jtitle	三田社会学 (Mita journal of sociology). No.4 (1999. )
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AA11358103-19990000-0131">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AA11358103-19990000-0131</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 編集後記

ここに第4号が完成しました。関係各位のご尽力に感謝します。これまで本誌創刊に情熱をこめた山岸先生の時期、「私財を提供」して本誌の継続に心を砕いた川合先生の時期を経て今日があります。重みのある原田先生の後を襲って若輩の私が本号の編集委員長を引き受ける際、今年は事務局が交替するので委員長の役割が重要になると何人かの方から忠告されました。そうした忠告を軽く聞き流して編集作業を見守ってまいりましたが、私の出番がないくらいスムーズに本号は出来上がりました。これも2つの特集編集担当の先生方と雑誌編集担当事務局をお引き受けくださった岬先生のおかげです。

こうした中で編集委員会がやった仕事をひとつだけ挙げておきます。本号に自由投稿論文として6篇の投稿があり、それぞれ2名の専門委員の査読を経て2篇が採択掲載されました。査読した専門委員から「修正必要」「不掲載」の意見の場合には詳しい理由が寄せられます。この内容を委員名以外すべて投稿者に開示しました。情報公開の流れのほかに、投稿者の大部分が大学院生など研究者として出発点に立つ方々なので論文執筆の参考にしてもらうためです。本誌が若手研究者育成のお手伝いができれば幸いです。ところでこのところの投稿論文を見ていますと、「書齋派」に比べて「実証派」ないし「フィールドワーク派」に元気がないように思えます。三田には後者の伝統もあります。今後この分野の力作も期待したいと思います。  
(編集委員長 熊田俊郎)

新体制の事務局としては初の出版にこぎつけることができました。これも、前事務局、編集委員、査読委員、そしてご執筆を頂いた方々の多大なご協力の賜物と、深く感謝申し上げます。

また、本号でも前号に引き続き、龍溪書舎、慶應義塾大学出版会の2社に広告を出して頂きました。さらに、前号同様、梅沢印刷所には短期間の印刷製本をお願いしました。以上の3社に御礼申し上げます。  
(編集委員会事務局記)

## 編集委員会

熊田 俊郎(委員長) 澤井 敦 鈴木 智之  
織田 輝哉(事務局) 岬 里美(事務局)

題字は福沢諭吉による

## 三田社会学

### 第4号

発行 1999年7月10日

編集発行:三田社会学会

☎108-8345 東京都港区三田2-15-45

慶應義塾大学文学部織田輝哉研究室内

Fax 03(3798)7480

印刷:梅沢印刷所

300部発行